

9月9日 全校朝会の話「秋を感じるススキ」

まだまだ、暑い日が続きますが、風が涼しく感じたり、トンボが飛んだり、色々な所で秋を感じるようになりました。

さて、これは、休み時間の屋上の写真です。今日は、この写真から、秋を感じる植物、ススキのお話をします。



ススキは、十五夜のお供えする植物としても知られていて、秋を感じます、このススキですが、どうして十五夜にお供えするか知っていますか。十五夜は、もともと、月をみながら歌を詠んだり音楽を楽しんだりする貴族の行事だったのですが、秋の収穫を喜び、感謝する風習として、普通の人にも広まって、今も続けられています。



ススキは、秋に収穫するお米の稲の姿に似ているから、稲に見立てて飾るようになりました。また、ススキはその葉のふちが鋭いので、災いから遠ざけると言われているため、十五夜が終わっても、軒先や庭に飾っているお家もあるそうです。



ススキの葉のふちは、良く見るとのこぎりの葉のようになっていて、しかも、とても固くなっています。遊ぶときは気を付けたいですね。



また、先の部分は、花穂といって、ここに、たくさんの花が咲きます。けもの尾のようにみえるので、尾花とも言います。秋の七草にある「尾花」は、ススキのことなのです。この花が咲いた後の種は風によって広がります。だから、ススキの野原が広がるのです。六年生が行った日光の戦場ヶ原も、ススキの名所として有名です。

屋上では、他にも、秋に咲く花を見つけました。いくつか、紹介します。

「ツククサ」「ヒメジョオン」「フィッシュゼラニウム」です。秋を感じられるものが、たくさんあります。バッタなどの虫を見つけることもできます。

まだまだ、暑い日が続きますが、秋らしさを見つけられるといいですね。



ツククサ



ヒメジョオン



フィッシュゼラニウム